



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,192	11.3	1,106	74.9	1,153	87.3	1,174	—
2020年12月期第3四半期	4,664	15.3	632	159.8	616	166.4	△651	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,197百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △642百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	36.01	35.39
2020年12月期第3四半期	△19.97	—

(注) 2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。

これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	6,536	4,970	75.9
2020年12月期	5,638	4,020	71.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 4,959百万円 2020年12月期 4,013百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。これに伴い2021年12月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,077	11.0	1,377	78.1	1,345	79.9	1,328	—	40.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名) —、除外 1社(社名) 株式会社エイチアイ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	32,725,280株	2020年12月期	36,638,880株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	235,068株	2020年12月期	14,656株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	32,622,006株	2020年12月期3Q	32,602,844株

(注) 2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。  
 これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。

株式分割前の株式数を基準にした2021年12月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 2021年12月期の配当予想：1株当たり配当金 第2四半期末 0円 期末 12円 合計 12円
- 2021年12月期の通期の連結業績予想：1株当たり当期純利益 162円32銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 中期経営計画の進捗に関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2021年9月3日開催の取締役会において、今後の当社グループの中長期的な成長を実現していくため、より機動的な経営体制を構築し事業を推進することが最善であると考え、2022年4月1日を効力発生日として、当社と株式会社セルシスを合併させ、統合会社の商号を事業会社としての認知度が高い株式会社セルシスに変更することを決議いたしました。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動をトータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましても、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は5,192,966千円（前年同期比11.3%増）、営業利益は1,106,574千円（前年同期比74.9%増）となりました。

また、経常利益につきましては、助成金収入53,984千円、為替差損4,590千円を計上したこと等により、1,153,995千円の経常利益（前年同期比87.3%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当第1四半期連結累計期間に特別利益として関係会社株式売却益205,651千円を計上したこと、法人税等185,178千円を計上したことにより、1,174,903千円の親会社株主に帰属する当期純利益（前年同期はのれんの減損損失による特別損失の計上により651,363千円の当期純損失）となりました。

なお、当社では、株主優待制度を通じて当社事業へのご理解を深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として株主優待制度を新設、2021年7月末現在の株主様に向け、9月中旬に発送いたしました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

#### <クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間においては、第1四半期、第2四半期に引き続き、子会社のセルシスがイラスト・マンガ・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の機能向上を目的とした開発投資を行いながら、海外利用ユーザー及びサブスクリプション契約の増加を目的とした、全世界に向けたプロモーション活動を実施しております。

「月次事業進捗レポート」で公表しております、「2020年1月を100%とした「CLIP STUDIO PAINT」サブスクリプションモデルの契約数進捗率」は、2021年9月には350%となり、前年同月から83.2%増加しております。さらに、サブスクリプションモデルの事業進捗をよりご理解いただくことを目的に、2021年9月の「月次事業進捗レポート」から、ARR（Annual Recurring Revenueの略称）を通じて、当社がサブスクリプションから年間ベースで得られると期待できる金額の公表も始めており、2021年9月のARRは1,595,000千円となり、前年同月の882,000千円から80.8%の増加となりました。

サブスクリプションモデルでのライセンス提供は、廉価な価格で利用開始の敷居を下げる反面、一括でまとまった金額のライセンス料を徴収する買い切りモデルに比べ、短期的には収益効果が低くなります。しかしながら、「CLIP STUDIO PAINT」への開発投資を続け、継続して利用頂くことで中・長期においては安定した収益が期待できるため、引き続きサブスクリプションモデルでのライセンス提供に注力してまいります。

8月には、サブスクリプションモデルで提供される「CLIP STUDIO PAINT」が、Samsung社のペン付きAndroidタブレット「Galaxy Tab S7 FE」にグローバルでプリインストールされて出荷が開始されております。タブレットに予めインストールされた「CLIP STUDIO PAINT」は、無料利用期間後にサブスクリプション契約を行うことで継続利用できる形となっており、サブスクリプション契約の増加が期待されます。

また、海外を重視したプロモーション施策の結果、「CLIP STUDIO PAINT」は、2021年9月現在、1,498万本の累計出荷本数のうち、70%以上が日本語以外の海外に向けた出荷となっております。

9月には、海外ユーザーの増加も目的に、日本では「LINEマンガ」韓国では「NAVER WEBTOON」等のサービスをグローバルに提供するWEBTOON Entertainment社と、近年、全世界で大きな支持を急速に得ている縦読みフルカラー形式のマンガである、ウェブトゥーンコンテンツの制作・翻訳・流通の効率化とマーケットの活性化を目指し、技術提携いたしました。

今後も、海外に向けたプロモーションや、協業パートナーとのコラボレーション等を積極的に行い、海外ユーザー及びサブスクリプションモデル契約の増加を図ってまいります。

以上の結果、売上高は4,420,045千円（前年同期比25.8%増）、営業利益は1,466,501千円（前年同期比21.9%増）となりました。

#### <UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、車載向けソフトウェア開発プラットフォーム「CGI Studio」（シージーアイスタジオ）、及び、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「UI Conductor」（ユーアイコンダクター）を中心とする自社IP製品の開発に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の自動車関連分野は、新型コロナウイルス感染症に端を発した、新車開発の遅れによるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境の改善は見られませんでした。しかしながら子会社のカンデラは、将来の市場回復・拡大を睨み、主力のHMIツールである「CGI Studio」及び「UI Conductor」それぞれの強みを統合し、自動車関連に限らず、液晶デバイスの普及により今後市場拡大が見込まれる、産業・民生機器等の幅広い分野で利用可能になることを目指した、次世代のHMIソリューションの先行研究開発投資に注力いたしました。

7月には、産業・民生機器分野におけるカンデラのHMIソリューション利用促進を目的に、エッジコンピューティングのグローバルリーダーであるADLINK Technology社（台湾）とパートナーシップを締結し、IoT市場において大規模で国際的な顧客ニーズに応えることを可能としました。先行事例として、カンデラとADLINK社は協働で洗濯機ディスプレイ用の多言語に対応したフルハイビジョンのフルデジタル2D/3Dグラフィカルユーザーインターフェイスを実現しております。

主力の自動車分野においては、8月にインドの大手自動車部品及び精密工学製品メーカーのPricol Limited社と戦略的パートナーシップを締結しました。カンデラのHMIツールで実現したHMIソリューションが、Pricol Limited社の車両セグメント向け次世代コネクテッド・ドライバー・インフォメーション・システム（DIS）製品に導入されます。

また、継続的な研究開発投資の成果として、Car HMI Europe が主催する「CarHMI Europe賞2021」の「自動車のHMI + UXにおける機械学習とAIの最も革新的なアプリケーション部門」において、カンデラのHMIツールの機能が、独ダイムラー社などを退けて第1位を受賞しました。引き続き、高い技術力を武器に自動車分野におけるカンデラのHMIソリューションの利用促進を図ってまいります。

今後も引き続き「CGI Studio」の積極的な営業活動を推進してまいります。売上高は761,920千円（前年同期比35.0%減）、営業損失は415,495千円（前年同期は637,245千円の営業損失）となりました。

なお、2021年12月期第1四半期累計期間において、連結孫会社であった株式会社エイチアイの全株式を売却したことにより、第2四半期連結会計期間以降につきましては、同社の数値は連結財務諸表に含まれておりません。

#### （2）中期経営計画の進捗に関する説明

2020年11月6日に発表いたしました中期経営計画で見込んでいる、2021年12月期のグループ売上6,980百万円、営業利益1,070百万円の計画に対し、当第3四半期累計実績は、売上5,192百万円（進捗率74.4%）、営業利益1,106百万円（進捗率103.4%）となりました。

カンデラが主力とする自動車関連分野の厳しい事業環境は改善していないなか、収支のバランスをコントロールしながらの先行開発投資の実施に加え、クリエイターサポート事業の堅調な事業進捗も収益に寄与し、中期経営計画は順調に進捗しております。

#### （3）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて897,748千円増加し6,536,027千円となりました。この主な要因は、売掛金が130,442千円、技術資産が76,733千円減少したものの現金及び預金が837,478千円、未収入金が180,309千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて52,013千円減少し1,565,589千円となりました。この主な要因は、前受金が158,691千円、賞与引当金が44,426千円増加した一方で未払費用が31,391千円、未払法人税等が226,947千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて949,761千円増加し4,970,438千円となりました。主な要因は、自社株買い等により自己株式を182,737千円追加取得した一方で利益剰余金が1,093,343千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、75.9%となりました。

#### （4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年7月28日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,923,860	3,761,339
売掛金	474,833	344,390
製品	8,661	8,377
仕掛品	37,577	24,973
原材料及び貯蔵品	13,353	24,115
未収入金	303,844	484,153
その他	107,081	140,601
貸倒引当金	△3,193	△144
流動資産合計	3,866,018	4,787,807
固定資産		
有形固定資産		
建物	136,377	170,309
減価償却累計額	△38,189	△46,562
建物(純額)	98,188	123,747
工具、器具及び備品	349,919	296,236
減価償却累計額	△239,080	△201,099
工具、器具及び備品(純額)	110,839	95,136
有形固定資産合計	209,027	218,883
無形固定資産		
ソフトウェア	807,314	847,968
顧客関連資産	89,731	69,024
技術資産	332,511	255,778
その他	64,465	74,134
無形固定資産合計	1,294,023	1,246,905
投資その他の資産		
投資有価証券	19,869	26,039
敷金及び保証金	167,188	165,821
繰延税金資産	63,662	70,875
その他	18,489	19,694
投資その他の資産合計	269,210	282,430
固定資産合計	1,772,260	1,748,220
資産合計	5,638,279	6,536,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	119,644	111,192
未払金	163,953	160,688
前受金	392,289	550,980
未払費用	165,458	134,067
未払法人税等	260,605	33,657
返品調整引当金	557	1,651
賞与引当金	68,025	112,451
その他	125,061	109,676
流動負債合計	1,295,597	1,214,366
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,900	133,530
退職給付に係る負債	192,494	215,803
その他	2,610	1,889
固定負債合計	322,005	351,222
負債合計	1,617,602	1,565,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,495,191	1,501,593
資本剰余金	974,318	980,720
利益剰余金	1,535,615	2,628,958
自己株式	△3,738	△186,476
株主資本合計	4,001,385	4,924,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,206	10,616
為替換算調整勘定	4,713	23,648
その他の包括利益累計額合計	11,920	34,265
新株予約権	7,370	11,377
純資産合計	4,020,676	4,970,438
負債純資産合計	5,638,279	6,536,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,664,777	5,192,966
売上原価	2,200,368	2,455,542
売上総利益	2,464,408	2,737,423
返品調整引当金戻入額	1,535	557
返品調整引当金繰入額	131	1,651
差引売上総利益	2,465,812	2,736,329
販売費及び一般管理費	1,832,969	1,629,755
営業利益	632,842	1,106,574
営業外収益		
受取利息	52	370
受取配当金	122	127
助成金収入	—	53,984
その他	3	4
営業外収益合計	178	54,487
営業外費用		
為替差損	13,919	4,590
特許権償却	2,272	1,993
その他	782	481
営業外費用合計	16,973	7,065
経常利益	616,047	1,153,995
特別利益		
関係会社株式売却益	—	205,651
新株予約権戻入益	576	434
特別利益合計	576	206,085
特別損失		
減損損失	1,065,863	—
特別損失合計	1,065,863	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△449,239	1,360,081
法人税等	202,124	185,178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△651,363	1,174,903
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△651,363	1,174,903

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△651,363	1,174,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,567	3,410
為替換算調整勘定	6,966	18,934
その他の包括利益合計	8,533	22,344
四半期包括利益	△642,829	1,197,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△642,829	1,197,248
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年8月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式220,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が182,737千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が186,476千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,513,275	1,151,501	4,664,777	—	4,664,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,579	20,579	△20,579	—
計	3,513,275	1,172,081	4,685,357	△20,579	4,664,777
セグメント利益又は損 失(△)	1,202,635	△637,245	565,389	67,453	632,842

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

UI/UX事業において、当初の事業計画に対する進捗状況及び今後の業績の見通しを考慮した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、のれんについて減損損失を計上しております。なお、当該事象によるのれんの減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,065,863千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

UI/UX事業において、減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第3四半期連結累計期間において1,065,863千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,420,045	761,920	5,181,966	11,000	5,192,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,420,045	761,920	5,181,966	11,000	5,192,966
セグメント利益又は損 失(△)	1,466,501	△415,495	1,051,005	55,568	1,106,574

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「UI/UX事業」を構成していた株式会社エイチアイの全株式を譲渡したため、株式会社エイチアイを連結の範囲から除外しております。なお、前連結会計年度末において、当該資産は「UI/UX事業」セグメントに597,765千円計上されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。